

民間研究会の対話事業者及び提案概要

アジア競技大会愛知・名古屋合同準備会

- ・名古屋競馬場跡地の選手村後利用や選手村整備の参考とするため、対話に参加する民間事業者を募集(H30.5)し、以下の11者を選定した。その提案概要は下表のとおり。
- ・民間研究会はH30.7からH30.12までの間で6回程度開催する予定（個別対話を基本。状況により複数での対話）。
- ・後利用基本構想は対話結果を参考に県・市で検討していく。

番号	対話事業者	後利用のコンセプト	提案施設
1	学校法人東邦学園	開放型スポーツ施設を活かす新時代のコミュニティづくり	・サッカー場
2	矢作建設グループ (代表法人 矢作地所(株))	「名古屋の魅力向上拠点」の増強	・温泉を各所に使用した複合型スパリゾート施設
3	イオンタウン(株)	健康・交流・コミュニティの拠点づくり	・商業複合施設
4	(株)竹中工務店 名古屋支店	次世代型まちづくり	・住環境整備 ・先導施設
5	大和ハウス工業(株) 名古屋支社	社会課題の解決に向けた「ダイバーシティ×サステイナブル」なまちの形成	・住居 ・生活利便施設 ・教育医療施設等
6	三菱地所(株) 中部支店	①人が集まりやすい空間の醸成 ②従前イメージの刷新	・住居、商業、産業 ・ビジネス施設（企業ミュージアムやショールーム等）
7	(株)学研ココファン	多世代・地域交流型の地域包括ケア拠点サービス付き高齢者向け住宅	・サービス付き高齢者向け住宅を中心とした地域包括ケア拠点
8	清水建設(株) 名古屋支店	リニア新幹線開通後を見据えたスーパーメガリージョンの一翼を担うサテライト	・住居、生活利便施設 ・展示場施設、物流倉庫
9	(株)長谷工コーポレーション 名古屋支店	最適な住まいと暮らしの創造	・分譲マンション ・賃貸マンション
10	ユニホーグループ (代表法人 (株)ユニホー)	活気あふれる“アジア村”	・選手村施設を利用した生活利便施設 ・インキュベーション施設等
11	(株)日本エスコン	新しい街の住民と、地域住民および国際交流ができる街づくり	・住居、生活利便施設 ・スポーツ、アウトドア施設及び温浴施設等

※番号は提案書の受付順